

第28回評価技術企画ワーキンググループ
(2023年3月6日)
でいただいた人材育成に関するご意見

資料2-2

＜BMDに関する専門性の高い人材の育成について＞

- 本質的な課題として、ベイズ推定に限らずBMDの分析体制が脆弱なのではないか。食品安全委員会でのエキスパートでの分析体制が、国に内包されておらず、ベイズ推定での保守的なガイドラインの立て方につながっているのではないか。
- 米国の場合、NIH（米国国立衛生研究所）のような研究機関のみならず、行政機関であるEPA（米国環境保護庁）にもセクションがあり、BMDのソフトウェアの開発も担っている。リスク評価におけるデータ分析に関して、エキスパートの関与が重要であり、行政機関に内包した場所でエキスパートを育成すべき。
- 人材の育成については、別の調査会でも課題となっている。食品安全委員会を含めて政府機関の人材育成には、教育の裾野を広げていくことが必要。